

平成17年6月9日(木)

愛知県産業技術研究所尾張繊維技術センター
開発技術室

担当 都筑、鹿野

電話 0586-45-7871

産業労働部産業技術課技術振興グループ

担当 加藤、渡辺

内線 3383、3384

(ダイヤルイン) 052-954-6348

織物設計の強い味方「How to 織物創作」を作成！

— 繊維企業新規採用者セミナーで活用します —

デザイン性の高い織物を作るには、織物企画者が、様々なトレンド情報を収集し、織物の外観をイメージして、それを具現化する織物企画設計を行います。ここに多大な労力を費やしています。

そこで、愛知県産業技術研究所 尾張繊維技術センターは、「毛羽の少ない織物」「ループがある織物」など代表的な外観イメージの織物について、作り方を分かりやすく解説した織物企画支援ツール「How to 織物創作」を作りました。

「How to 織物創作」は、次の2つから構成されています。

①「マニュアルブック」

代表的な外観イメージの織物の作り方について、「糸」「織」「加工」の技術区分ごとにわかりやすくまとめました。

②「データベース」

マニュアルブックの内容とともに、過去の類似な織物見本が検索できます。

6月15日(水)に「繊維企業の新規採用者向けセミナー」において、マニュアルブックを配布し、データベースの使用説明を行います。

また、企業の方々向けに、当センターで、マニュアルブックの配布、専用コンピュータによるデータ検索、およびその検索結果の織物見本の閲覧を開始します。

1 背景と目的

国内繊維業界は、大量に押し寄せるアジア近隣諸国の安価でかつ品質が安定化しつつある繊維製品に対して、生き残りをかけたさまざまな模索を続けています。

消費者が繊維製品を購入する上で、デザインの良し悪しは、最大の判断材料であることは言うまでもなく、国内繊維業界が生き残るためには、世界の最新トレンド情報をいち早くキャッチし、それに基づくデザイン性の高い織物を提供することが必要です。そこで、織物の外観等のデザインを決める企画者の力量が大きなキーポイントとなります。

通常、織物企画者はそれまで培った知見やノウハウ等により企画を行っていますが、これまでは目的とする外観の織物を製造する方法を体系化した資料がなかったため、イメージを具現化するのに労を費やしていました。

そこで、これまでの織物を作るノウハウや外観デザインを改めて整理し、織物企画者の支援ツールとして、「データベース」と「マニュアルブック」を作成しました。

2 マニュアルブックの概要

(1) 特徴

①「毛羽の少ない織物」「ループがある織物」など26の特徴的な外観を持つ織物の製造方法について、「糸」「織」「加工」の技術区分で解説

②「糸」「織」「加工」の技術ポイントを94項目にて掲載

(2) 構成 A5 16ページ フルカラー (写真入り)

(3) 作成部数 500部

(4) 配布方法 当センターにて「How to 織物創作」に関心のある方に無料配布

3 データベースの概要

代表的な織物見本175点の中から、90語のトレンド情報のキーワードで検索し、該当する織物の情報を表示します。また、検索結果を基に見本帳を閲覧できます。

(1) キーワードの例 落ち着いた、きれいな、光沢のある、ざらざらした

(2) 表示内容 織物見本の設計書、外観写真、見本帳の索引

(3) その他 織物等用語解説を65語登録

4 波及効果

(1) イメージをすばやく具現化でき、織物企画時に参考にすることで、オリジナル性が高く、幅広い商品企画が期待されます。

(2) 織物製造業やアパレル業などに従事する経験の浅い企画者・技術者への教材としても活用できます。

5 繊維企業の新規採用者向けセミナー

日 時：平成17年6月14日(火)～15日(水) 午後1時～午後5時

主 催：尾張繊維技術センター

(一宮市大和町馬引字宮浦35)

財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンター

(一宮市大和町馬引字南正亀4番地1)

このうち6月15日(水)午後1時～午後2時に、尾張繊維技術センターにて、マニュアルブックを配布し、データベースの使用説明を行います。

6 問合せ先

愛知県産業技術研究所 尾張繊維技術センター 開発技術室

電話：0586-45-7871

FAX：0586-45-0509

<参考>

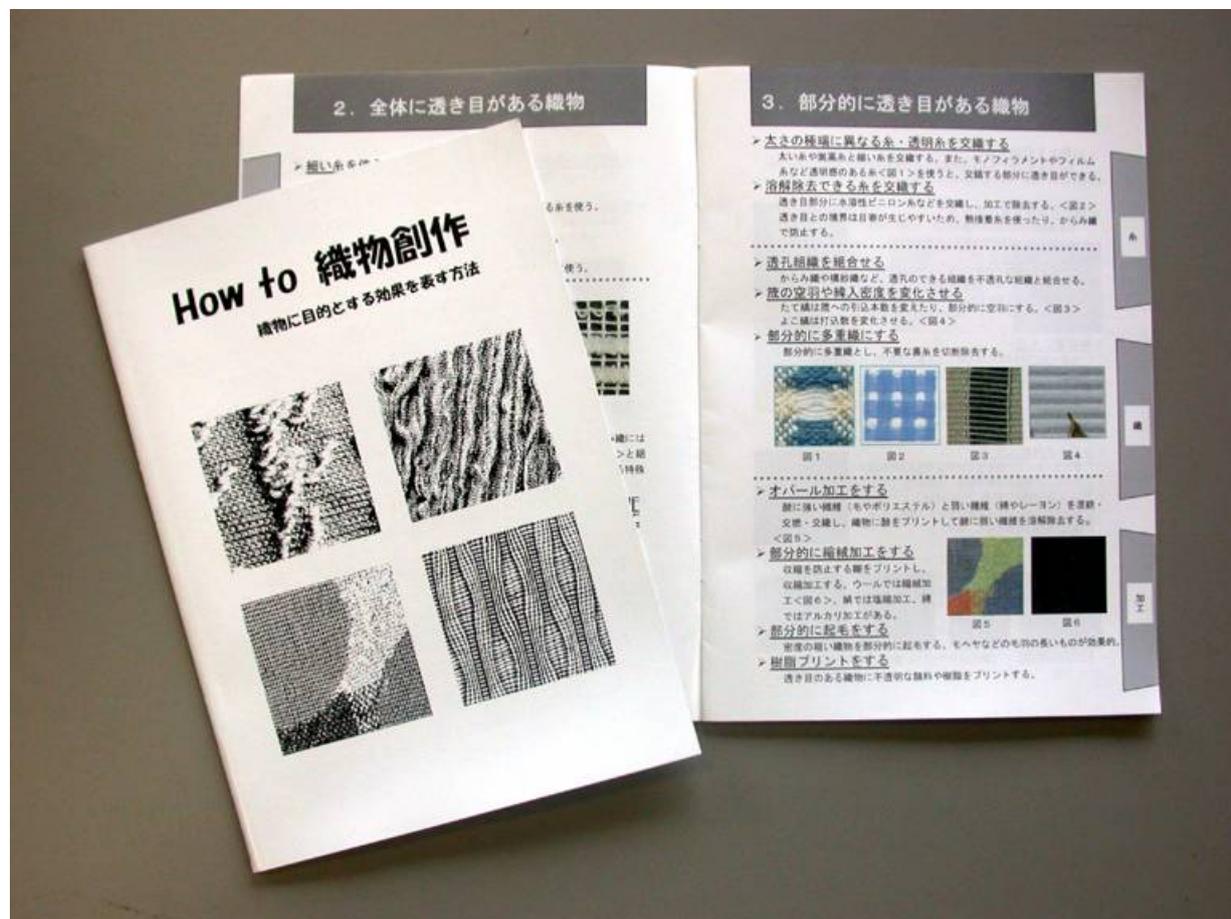
【支援ツール作成のエピソード】

本ツールを作成するために、当センターが過去1950年から所有している織物見本86巻分、約1万点を精査し、糸素材や技術工程名などの従来の分類ではなく、織物企画するときイメージしやすいように、「毛羽の少ない織物」「ループがある織物」など外観別に分類しました。

さらに、過去10年分のトレンド情報から90のトレンドキーワードを抽出し、外観別の織物と関連付けました。トレンドキーワードは「泡のような」「野性的な」という抽象的な表現が多く使われているため、それを具体的な織物に落とし込むことは困難を極めました。熟練技術者や、織物企画者の意見を参考にしながら作成することができました。

トレンド情報は、春夏と秋冬の年2回のシーズンごとに出されるので、今後も最新のトレンド情報に対応するよう、データベースは更新していきます。

【マニュアルブック】



【データベース表示例】

